

CONTROL UNIT OF MOORING MACHINE

Patent Number: JP57186593
Publication date: 1982-11-17
Inventor(s): KANOU MASAYOSHI; others: 08
Applicant(s): HITACHI ZOSEN KK
Requested Patent: ☐ JP57186593
Application Number: JP19810069974 19810508
Priority Number(s):
IPC Classification: B63B21/16; G10L1/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To perform various operations directly required for approaching the shore by means of voices of a crew by receiving the voices directed by the crew and generating mooring machine driving signals based on the voices.
CONSTITUTION:A multitude of mooring machines 3 and their driving units 4 are arranged on the deck 2 of a ship, and the voice signals directed by a crew are transmitted by a wireless microphone 8 and are received by an antenna. Received voice signals are decoded by a voice pattern recognition and transmission unit 11, which generates the signals to control individual mooring machine driving units 4 and drives working machines 3 required for operations in approaching the shore as prescribed. Thereby, the operations in approaching the shore can be performed easily and the crew is not required to operate the mooring machines and wires directly.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

⑨ 日本国特許庁 (JP)
⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭57—186593

⑫ Int. Cl.³
B 63 B 21/16
G 10 L 1/00

識別記号

庁内整理番号
7270—3D
7350—5D

⑬ 公開 昭和57年(1982)11月17日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 係船機の制御装置

⑯ 特 願 昭56—69974

⑰ 出 願 昭56(1981)5月8日

⑱ 発 明 者 加納正義

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

⑲ 発 明 者 桂豊

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

⑳ 発 明 者 桑木光信

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

㉑ 発 明 者 多和聖文

㉒ 発 明 者 近江義夫

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

㉓ 発 明 者 渡辺一哉

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内

㉔ 出 願 人 日立造船株式会社

大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号

㉕ 代 理 人 弁理士 藤田龍太郎

最終頁に続く

明 細 書

1 発明の名称

係船機の制御装置

2 特許請求の範囲

① 船舶の甲板上に配置された複数の係船機と、該各係船機をそれぞれ駆動する複数の係船駆動装置と、乗組員の指示する音声信号を送信するワイヤレスマイクロホンと、該ワイヤレスマイクロホンよりの音声信号を受信するアンテナと、該アンテナよりの音声信号を認識し前記各係船駆動装置にそれぞれ駆動信号を伝達する音声認識伝達装置とを備えたことを特徴とする係船機の制御装置。

3 発明の詳細な説明

この発明は、複数の係船機を、乗組員の音声により駆動制御するようにした係船機の制御装置に関する。

一般に、船舶の接岸作業は、船舶の甲板上に配置された係船機から索を繰り出し、岸壁の係柱に索を係止したのち、索の巻込みを行なう。ところで、従来は、乗組員が係船機を操作するとともに

索を取扱っているため、多くの人手を要し、困難な作業である。

この発明は、前記の点に留意してなされたものであり、つぎにこの発明をその1実施例を示した図面とともに、詳細に説明する。

図面において、(1)は船舶、(2)は船舶(1)の甲板、(3)は甲板(2)上の舷近くに配置された第1番、第2番等の複数の係船機、(4)は各係船機(3)に設けられた複数の係船駆動装置であり、係船機(3)のドラム(5)をクラッチ(6)を介して正転、逆転、停止させ、かつ、ブレーキをオン、オフ、クラッチをオン、オフさせる。(7)は甲板(2)上の乗組員、(8)は乗組員(7)が把持したワイヤレスマイクロホンであり、乗組員(7)の指示する音声信号を送信する。(9)はブリッジ(10)に設けられワイヤレスマイクロホン(8)よりの音声信号を受信するアンテナ、(11)は音声認識伝達装置であり、アンテナ(9)からの音声信号を認識し、その認識により該当の係船駆動装置(4)に各種駆動信号を伝達する。

したがって、舷側の乗組員(7)が、係船状態を確

(1) … 船舶、(2) … 甲板、(3) … 係船機、(4) … 係船駆動装置、(7) … 乗組員、(8) … ワイヤレスマイクロホン、(9) … アンテナ、(10) … 音声認識伝達装置。

代理人 弁理士 藤田 龍太郎

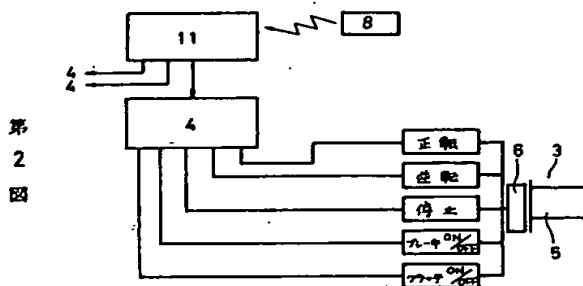
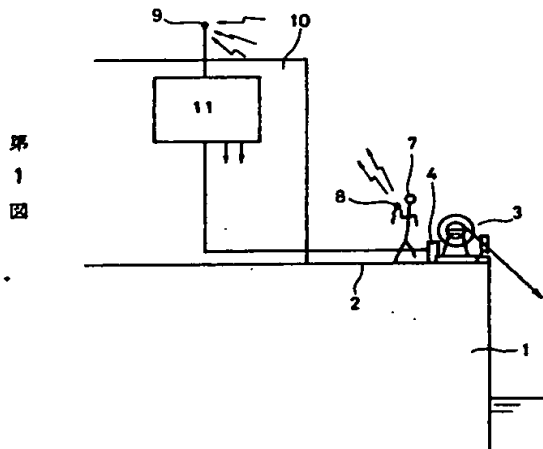
認しながら、第何番ウインチ、ブレイアウトあるいはブレーキ、クラッチオンあるいはオフ等、音声でワイヤレスマイクロホン(8)に指示することにより、アンテナ(9)、音声認識伝達装置(10)を経て係船駆動装置(4)が係船機(3)を駆動し、索の繰出し、巻き込み、停止等、ドラム(5)の回転制御をはじめ、ブレーキ、クラッチ操作を、容易に行なうことができ、かつ、1人の乗組員で複数個の係船機(3)を簡単に操作することができる。

なお、大形船の場合は、船首と船尾にそれぞれ乗組員(7)を配置するのが望ましい。

以上のように、この発明の係船機の制御装置によると、乗組員の音声による指示により、各係船機を駆動することができ、接岸作業が容易であり、従来のように乗組員が直接係船機および索を操作する必要がなく、人手を削減することができる。

4 図面の簡単な説明

図面はこの発明の係船機の制御装置の1実施例を示し、第1図は概略正面図、第2図はブロック図である。



第1頁の続き

- ⑦発明者 寺内和男
大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内
- ⑧発明者 深田雅敏
大阪市西区江戸堀1丁目6番14
番日立造船株式会社内
- ⑨発明者 永井本彦
大阪市西区江戸堀1丁目6番14
号日立造船株式会社内